

仙台高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)	授業科目	建築計画
<b>科目基礎情報</b>					
科目番号	0010		科目区分	専門 / 必修	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	建築デザインコース		対象学年	3	
開設期	通年		週時間数	2	
教科書/教材	特になし。/ 適宜プリントを配布する。参考図書: 『第3版コンパクト建築設計資料集成』日本建築学会編、丸善				
担当教員	坂口 大洋, 菊池 義浩				
<b>到達目標</b>					
1) 空間を構成する要素や建築に求められる性能について説明することができる。 2) 人間の知覚や行動、寸法について説明することができる。 3) 各種施設タイプの計画上の要点について説明することができる。 ・ 建築の計画・設計の基本的な進め方を理解する ・ 現代およびこれからの時代と社会に求められる建築像を説明できる。					
<b>ルーブリック</b>					
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安	
評価項目1: 空間構成要素と性能への理解		空間を構成する要素と求められる性能について具体例を挙げて説明できる	空間を構成する要素と求められる性能について説明できる	空間を構成する要素と求められる性能について説明できない	
評価項目2: 建築空間の利用者である人間への理解		人間の知覚や行動、寸法について具体例を挙げて説明できる	人間の知覚や行動、寸法について簡単に説明することができる	人間の知覚や行動、寸法について説明できない	
評価項目3: 各種施設計画への理解		各種施設タイプの計画上の要点を捉え、具体例を挙げて簡潔に説明できる	各種施設タイプの計画について説明できる	各種施設タイプの計画について説明できない	
<b>学科の到達目標項目との関係</b>					
<b>教育方法等</b>					
概要	建築を計画する上で必要な基礎知識・理論を身につけ、事例を通して計画手法を理解し、建築に対する多角的なものの見方や養う。				
授業の進め方・方法	スライドを用いて解説する。定期的に出題する予習・復習レポートに取り組む。				
注意点	普段から身の回りの環境に関心を持ち、人の行為と空間との関係を観察したり、書跡・雑誌・インターネットを調べてまとめるなど、能動的な取り組みが必要になる。				
<b>授業の属性・履修上の区分</b>					
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
<b>授業計画</b>					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ガイダンス、建築計画とは何か	本授業のねらいと進め方、評価方法を確認する。建築計画の意義と役割について説明できる。	
		2週	建築の成り立ち (通史)	建築がいかに発展してきたかを捉え、具体的事例を挙げて説明することができる。	
		3週	建築を構成する要素	建築を構成する要素と空間について説明できる。	
		4週	空間の性能 (1)	建築が備えるべき安全性、耐久性、経済性について説明できる。	
		5週	空間の性能 (2)	使いやすさ、明るさ、柔軟性といった快適性を構成する要素について説明できる。	
		6週	形態と造形	美しいとされる比率、バランスについて説明できる。様々なアプローチから建築が形作られることについて説明できる。	
		7週	寸法と規模 (1)	人体寸法、動作寸法、もの寸法が説明できる。廊下やトイレ、駐車場の寸法設計について説明できる。	
		8週	寸法と規模 (2)	寸法や空間規模がいかにして決められるかを説明できる。	
	2ndQ	9週	人間の知覚と空間認知	人間の知覚の特性について具体的事例を挙げて説明することができる。	
		10週	環境心理と環境行動	人間の空間認識と行動の特徴について説明することができる。	
		11週	建築生産・建築プロセス	建築生産・プロセスについて具体例を挙げて説明できる。	
		12週	建築マネジメント	建築の維持管理、マネジメントについて具体例を挙げて説明できる。	
		13週	計画・設計の進め方 (1)	建築企画・計画・設計のプロセスについて説明することができる。	
		14週	計画・設計の進め方 (2)	建築の配置形態、空間構成の手法を説明することができる。	
		15週	計画・設計の進め方 (3)	空間を形成する要素、ディテールについて説明することができる。	
		16週	試験		
後期	3rdQ	1週	独立住宅の計画	居住系施設 (住宅) の計画について説明できる。	
		2週	集合住宅の計画	居住系施設 (住宅) の計画について説明できる。	
		3週	ホテル・宿泊施設の計画	医療・業務系施設あるいは類似施設の計画方法について説明できる。	

4thQ	4週	病院・クリニックの計画（1）	医療・業務系施設あるいは類似施設の計画方法について説明できる。
	5週	病院・クリニックの計画（2）	医療・業務系施設あるいは類似施設の計画方法について説明できる。
	6週	高齢者・障害者福祉施設の計画	医療・業務・福祉系施設あるいは類似施設の計画方法について説明できる。
	7週	学校の計画（1）	教育・福祉系施設あるいは類似施設の計画方法について説明できる。
	8週	学校の計画（2）	教育・福祉系施設あるいは類似施設の計画方法について説明できる。
	9週	児童施設（幼稚園・保育所・こども園、児童館）の計画	教育・福祉系施設あるいは類似施設の計画方法について説明できる。
	10週	劇場・コンサートホールの計画	文化・交流系施設あるいは類似施設の計画方法について説明できる。
	11週	図書館・メディアセンターの計画	文化・交流系施設あるいは類似施設の計画について説明できる。
	12週	集会・コミュニティ施設の計画	文化・交流系の施設あるいは類似施設の計画について説明できる。
	13週	店舗・商業施設の計画	商業施設の計画方法について説明できる。
	14週	事務所・オフィスビル・庁舎の計画	業務系施設あるいは類似施設の計画方法について説明できる。
	15週	博物館・美術館・ギャラリーの計画	文化・交流系施設あるいは類似施設の計画について説明できる。
	16週	試験	

### モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
専門的能力	分野別の専門工学	建築系分野	計画・歴史	教育や福祉系の施設(例えば、小学校、保育所、幼稚園、中・高・大学など)あるいは類似施設の計画について説明できる。	4	前1,前13,前15,後9
				文化・交流系の施設(例えば、美術館、博物館、図書館など)あるいは類似施設の計画について説明できる。	4	
				医療・業務系の施設(例えば、オフィスビル、病院、オーデトリウム、宿泊施設等)あるいは類似施設の計画について説明できる。	4	後9,後16

### 評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	0	0	0	30	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	70	0	0	0	30	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0